

中播磨
生活創造
しんぶん

Wa'Wa'Wa

Vol.112

令和6年12月号

目次 | P2 ぶら〜り町歩き「塗師岡田」 / P3 中播磨県民センターからのお知らせ / P4 消費生活情報



中播磨 風土記

岩田健三郎先生の版画のスケッチ会で、飾磨大樋から飾磨港まで往復二十四回、船場川にかかる「橋シリーズ」がありました。船場川は、市街地を流れ姫路城の堀を満たしています。新緑まぶしい五月の坊主橋でのスケッチ中、羽を広げた白鷺が私の上を飛んでいきました。白鷺のその大きさに驚きました。（中塚 勝美）

ぶら〜り町歩き

伝統工芸品、歴史的建造物、おすすめのレストランなど…中播磨地域に住む記者が「行ってみたい」と思う、こんなところをご紹介します！



塗師岡田
【たつの市揖保川町】

岡田さん（中央左側）と記念撮影

文献をひもとき150年ぶりに復刻 「幻の書写塗に魅せられて〜17年の歳月をかけた研究と努力〜」

「書写塗」は姫路独自の文化として、多くの難関を乗り越えて現在に伝承されています。書写山にちなんだ書写塗は、書写山圓教寺の壽量院の精進料理で使われている器ということで知られている程度で、その由来や製法を知る人は少ないのではないかと思います。今回は、この播磨の地で、唯一、書写塗の由来や製法に興味関心を持ち研究を積み重ね、現代に復元し、そして国内外へ発信と継承に心血を注いでおられる、たつの市揖保川町にある岡田道明さんの工房「塗師岡田」を訪問させていただきました。

工房には、思わず目を見張る数や大きさなど様々な書写塗の漆器が置かれていました。書写塗は20工程余の製法技術があるとお聞きし、丹念に作り上げられたものだと分かりました。それゆえに落としても割れない、また使い込むうちに上塗りの朱漆が摩耗してじわりと出てくる下塗りの黒漆が味わい深く表われてきます。

書写塗に関する唯一の文献資料によると、1585年和歌山の根来寺が秀吉の焼き討ちにあった際、離散した塗師によって漆塗りの文化が書写山に伝わりその後、江戸時代末期に磁器の台頭により途絶えてしまったと記されています。生活様式の変化などに伴って途絶えていく書写塗を、情熱にあふれた塗師の岡田さんをはじめ多くの関係者の17年余の歳月の研究とたゆまぬ努力によって復元されたのが現在の書写塗です。

今後は、書写塗を器だけでなく身近な生活用品などに取り入れ、さまざまな制作活動を行うことで、後継者が生業として成り立つための地場産業として確立し、世界に発信していきたいと考えておられます。書写塗などの漆器は、ともすれば高価な品物として日用品として敬遠され飾り物として取り扱われることが多いですが、日常生活により多く取り入れ、活用していくことが作り手の何よりの狙いです。お話を聞きながら、そのものの由来や製法を知り、生活の中に生かしていくことの大切さを痛感しました。



復刻された書写塗の漆器



書写塗の由来や魅力を学ぶ

取材・原稿／【生活創造応援隊】植原 邦子、田路 和子

中播磨県民センターからのお知らせ



「ひょうごフィールドパビリオン」とは？

ひょうごフィールドパビリオンは、地域の「活動の現場そのもの（フィールド）」を、地域の方々が主体となって発信し、多くの人来て、見て、学び、体験していただく取組です。

姫路の地場産業に触れてみる ～マッチを通じて火に親しむ1日～

株式会社日東社の提供する体験型プログラムが「ひょうごフィールドパビリオン」に認定されました。今回の認定により、中播磨管内の認定プログラムは、23件となりました。株式会社日東社は、創業100年を超える姫路市にあるマッチメーカーであり、姫路の地場産業のひとつであるマッチを一貫体制で生産しています。こちらで提供される体験型プログラムでは、マッチ生産工程やマッチの里ミュージアムの見学とともに、色鉛筆やテープを使いオリジナルマッチを制作することもできます。



頭薬がついてマッチらしい姿に



箱詰めされたマッチを人の目でしっかりとチェック



さまざまなデザインのマッチ箱

一足先に工場内を見学させていただきましたが、軸木を選別するところから商品が出来上がり包装されるまでの工程を順番に間近で見学することができ、とても興味深かったです。特に、頭薬（マッチ棒の頭・こすって火をつける部分）をつけ乾燥させる自動マッチ製造機は、大量かつ一気に処理する様が大迫力でした。是非みなさんも姫路の誇る地場産業にふれてみてください。

Oh! zappa! 小さなしあわせ発見ツアー

ひょうごフィールドパビリオン認定プログラムのひとつである株式会社ZAPPAが運営するザッパ村にて、「ザッパ村の歴史とSDGsに触れる小さなしあわせ発見ツアー」に参加しました。そこは、代表取締役の野阪さんの夢の詰まった、異国情緒漂う建物と手作りの可愛い装飾に囲まれた小さな村でした。全てが可愛い雑貨屋さんとおしゃれなカフェかと思う空間ですが、ツアーを終えると、その奥深さに驚きます。過疎化などの地域社会問題をポジティブに変換し、地域の人を巻き込み廃材提供を受けて、みんなで楽しみながら解決していくという「ザッパ流のSDGs」の考え方を体感することが出来ます。自由でゆったりとした時間の流れの中で、自分たちの生活を振り返る時間にもなりました。みなさんもちょっぴり非日常を感じるザッパ村を訪れてみてはいかがでしょうか。



ザッパ村の入り口
異国に来たような外観



来村人が自由に端布を貼り付けた
「クジラダ・ファミリア」



地域ならではの「播州手織り」の洋服販売

フィールドパビリオン県民モニター募集

フィールドパビリオンを実際に体験してもらい、各プログラムがより魅力的になるよう、県内の団体・グループが、ひょうごフィールドパビリオン認定プログラムを体験するための費用を助成します。令和6年12月1日より第4期募集を開始します。

- (1) 対象団体 県内の10名以上の自治会、子ども会等の地域団体・グループ
- (2) 対象経費 ①ひょうごフィールドパビリオン認定プログラム体験料（消費税は除く）
②体験にかかる交通費
- (3) 補助率 補助対象経費に応じて定額（上限4万円）



申請QRコード

消費生活情報～くらしに役立つ情報をお届けします～

消費者被害防止!

**だまされやすさを測る
心理傾向チェック!**

「自分は大丈夫」と思っていないか!?
点数を付けて合計点を出してみましょう。

心の弱さを
診断!



- 1点：ほとんど当てはまらない
- 2点：あまり当てはまらない
- 3点：どちらともいえない
- 4点：やや当てはまる
- 5点：とても当てはまる

A	1 择まれるようにお願いされると弱い	<input type="checkbox"/>	点
	2 おだてに乗りやすい	<input type="checkbox"/>	点
	3 自信たっぷりと言われると納得してしまう	<input type="checkbox"/>	点
	4 見かけの良い人だとつい信じてしまう	<input type="checkbox"/>	点
	5 素敵な異性からの誘いと断れない	<input type="checkbox"/>	点
B	6 マスコミで取り上げられた商品はすぐ試したくなる	<input type="checkbox"/>	点
	7 好きな有名人が勧める商品は買いたくなってしまう	<input type="checkbox"/>	点
	8 新しいダイエット法や美容法にはすぐにとびつく	<input type="checkbox"/>	点
	9 専門家や肩書きがすごい人の意見には従ってしまう	<input type="checkbox"/>	点
	10 無料だったり返金保証があるならいろいろ試してみたい	<input type="checkbox"/>	点
C	11 資格や能力アップにはお金を惜しまない	<input type="checkbox"/>	点
	12 良いと思った募金にはすぐ応じている	<input type="checkbox"/>	点
	13 欲しいものは多少のリスクがあっても手に入れる	<input type="checkbox"/>	点
	14 どんな相手からの電話でも最後まで聞く	<input type="checkbox"/>	点
	15 試着や試飲をしたために、つい買ってしまったことがある	<input type="checkbox"/>	点

合計 点

心の弱さを知っておくことが
消費者被害防止の第一歩!

合計点が高い人ほど特に危険!
勧誘には意識的に注意しましょう!
「性格的に自分は被害に遭わない」と
思えるような人でも…
4人に1人は契約! 油断は禁物!

勧誘を受けたときに契約してしまう確率

60点以上：約 70%
50点台：約 50%
40点台：約 40%
30点台：約 30%
30点未満：約 25%

高
危険度

詳しくはこちら



消費者トラブル ひとりで悩まず すぐ相談 消費者ホットライン

188



出典:「リスクな心理傾向」を測るチェックシート:デザインA(消費者庁)
(https://www.caa.go.jp/future/project/project_001/material/)

しんぶんを通して、人のWa'・平和のWa'・話のWa'など限りないWa'に出会いたい...そんなWa'を伝えていきます。
(生活創造応援隊 一同)